

下記外部リンクよりご予約ください。

[旧日向家熱海別邸 予約サイト \(外部リンク\)](#)

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和3年7月現在）



宅地 復旧工事  
軽量土搬入



地下室 RC補修工事  
階段外部補修



宅地 復旧工事  
背面排水溝設置





宅地 復旧工事  
外構工事

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和3年6月現在）



地下室 簀戸補修

女萩の簾は京都の竹材店で製作します。





附上屋 左官工事



地下室 実測調査

特殊な建具について実測調査を行いました。



宅地 復旧工事  
軽量土敷き均し前



宅地 復旧工事  
排水溝設置前



左部分のRC壁は地下室背面の壁面になります。補強梁天端の上に排水溝を設置します。

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和3年5月現在）



地下室 竹鎖照明外し

竹鎖をそのままにした状態でソケットのみ取り外しました。



地下室 竹鎖補足材

色合わせを行い、前回より黒味が増しました。数量は確保出来ています。今後は調整作業を行います。

### 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和3年4月現在）





附上屋 RC補修工事 地下への階段部分

外部から内部へ漏水しておりRC補修のため、窓下の一部を解体中。  
窓下の練塀状の部分は、木部破損の状況に応じて解体範囲を拡げます。



附上屋 RC補修工事 練塀状の瓦

特殊な形状をしており、2段分を1枚としてタイルのように団子張りとしている。再用できるように解体します。



附上屋 仮設工事  
素屋根解体完了。





宅地 復旧工事 排水溝復旧  
一部既存材を使用。（写真中央部分）

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和3年3月現在）



附上屋 温水暖房用土管確認 端部は確認できませんが、往復分と考えています。





附上屋 屋根工事 銅板葺きと樋工事が完了しました。  
当初の銅樋のうち、可能なものは補修し再利用しました。



附上屋 左官工事 耐震補強壁部分 下塗り確認  
この上に現状と同様のじゅらく調仕上げ塗りを行いました。



#### 出来高検査

3月16日（火曜日）に上屋の屋根工事が完了しました。4月には足場を撤去する予定です。





現地指導 3月25日（木曜日）に文化庁と静岡県の担当者が現地指導を行いました。

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和3年2月現在）



附上屋 耐震補強工事 補強壁工事確認





附上屋 屋根工事 瓦葺き確認



地下室 雑工事 上貼り（糊付け）作業中





地下室 雑工事 貼り壁補修 上貼り





一般見学会 2月21日 日曜日 80名の参加がありました。

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和3年1月現在）



地下室 屋根工事 正面一部葺替え完了



地下室 屋根工事 西庇葺替え完了



地下室 雑工事 貼り壁補修 東京文化財研究所にて補修完了確認





附上屋 屋根工事 木部補修。下地木毛板を張り



ルーフィング張りをしています。

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和2年12月現在）



附上屋 耐震補強工事 鉄骨検査 鋼管柱4本





附上屋 耐震補強工事 鉄骨検査 鋼管柱4本



附上屋 耐震補強工事 鉄骨検査 寸法確認





附上屋 耐震補強工事 鉄管柱建方 台所部分



附上屋 耐震補強工事 天井上梁部分 天井部分隠蔽部分になります。  
鉄管柱2本及び基礎梁とフレームを組みました。写真左方の木部梁は2階柱筋になります。

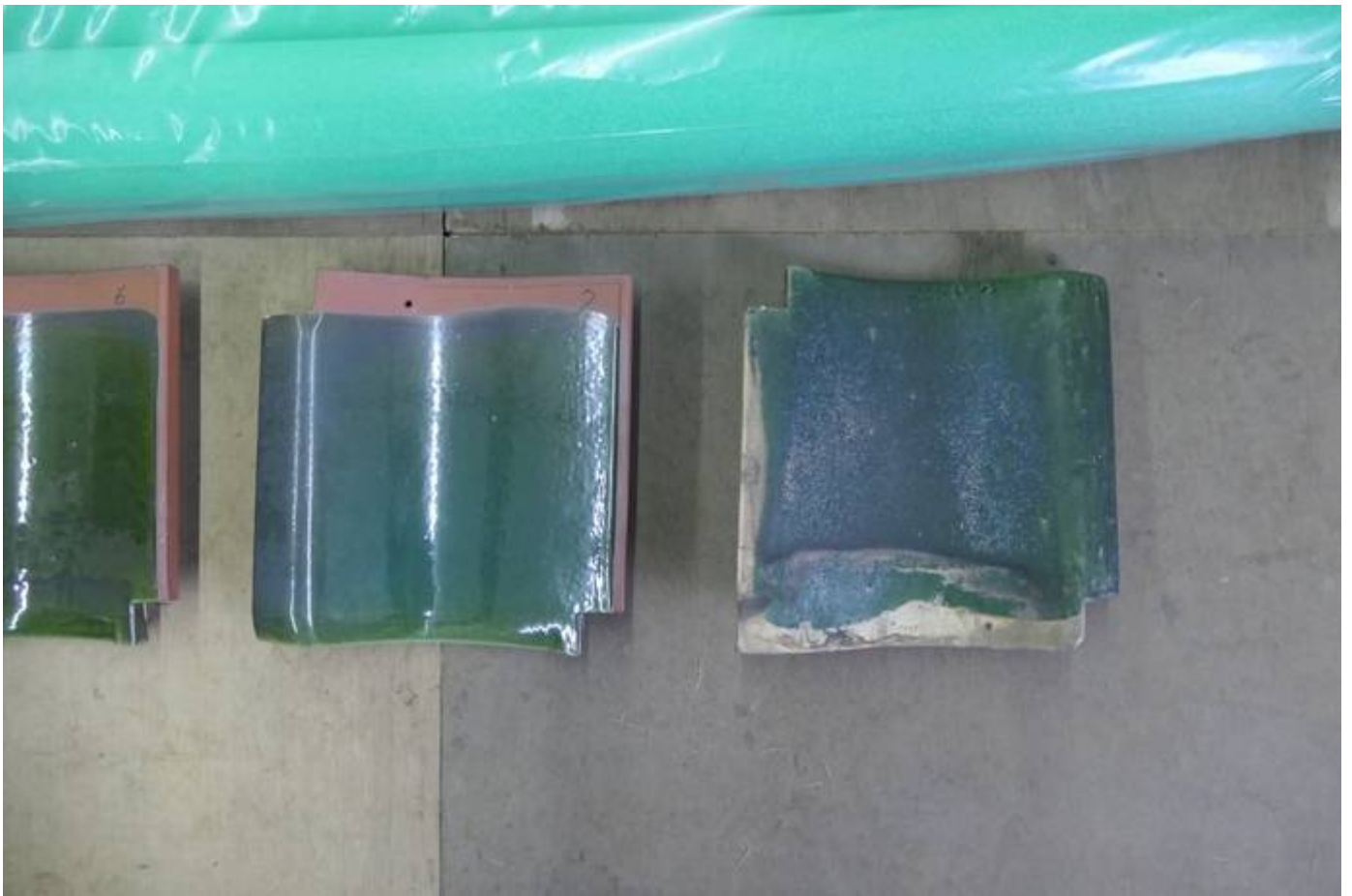


## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和2年11月現在）



上屋1階 庭側の鉄骨基礎部分です。

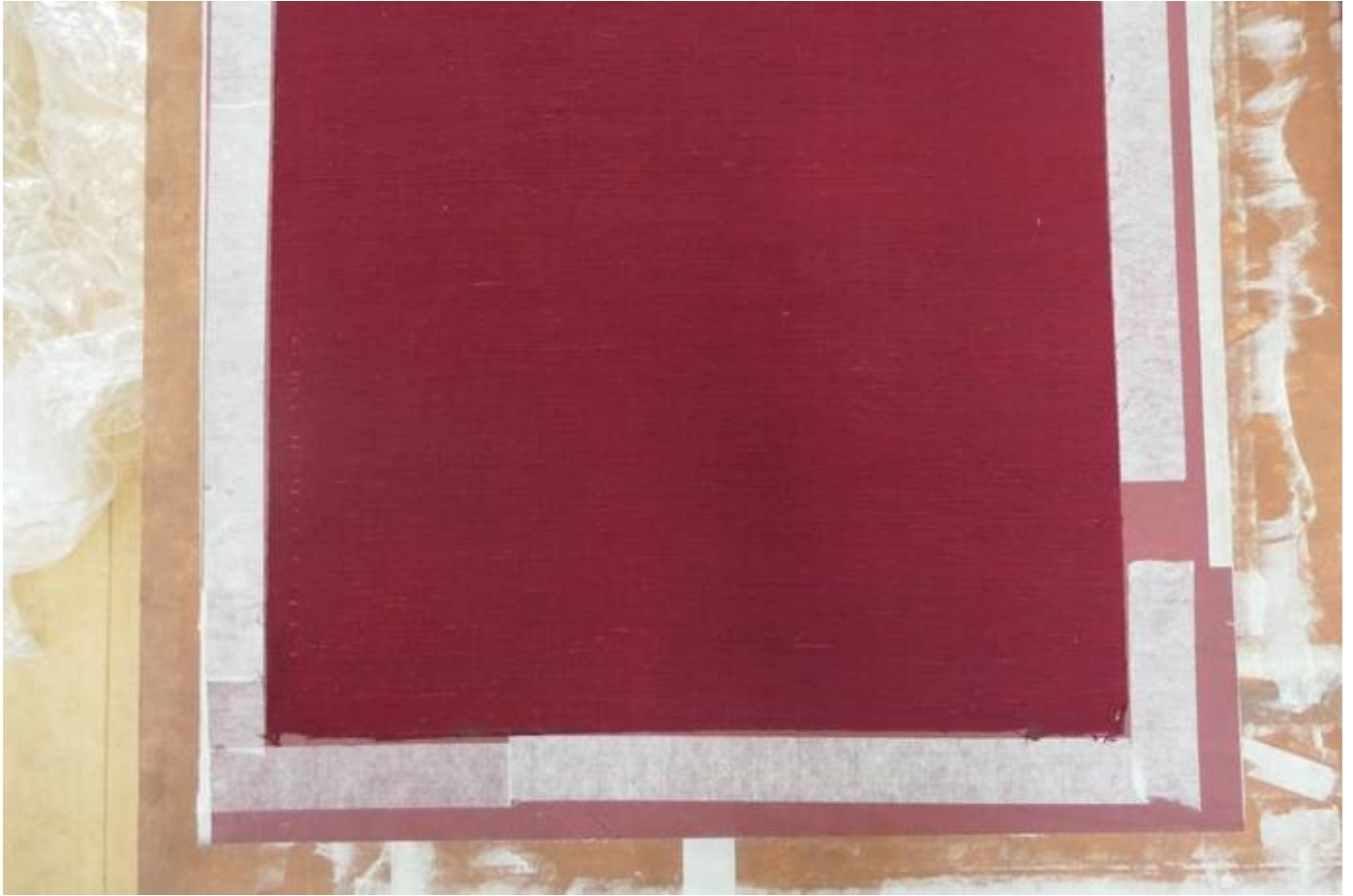


右が当初材になり、左が見本品になります。  
いくつか色味を変えて製作し、違和感の少ない意匠になりました。





東京文化財研究所（上野）内の工房において、国宝修理装こう師連盟所属の修復専門家により、修理を進めています。写真は裏打ち作業です。



比較的状态の良い壁布はクリーニングにより、汚れがほとんど目立たなくなりました。



非常に状態の悪い壁布についても、丁寧にクリーニングと裏打ちを行うことにより再生できます。  
破損範囲が広い部分については、さらに色合わせをした糸・布で補います。

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和2年10月現在）



上屋1階 道側の基礎部分 ホールダウン金物確認です。





竹芸家による調査をおこない、当初部材の寸法、節の位置などの違いを見ながら、試作品の作製を進めています。

#### 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和2年9月現在）



上屋1階 庭側の鉄骨基礎部分です。



現場監理者による確認作業です。

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和2年8月現在）





既存の配線及び竹鎖と、できるだけ干渉しないよう、LEDの小型イルミネーション用電球を用いて、点灯イメージを再現しました。



文化財照明器具の専門家による調査をおこないました。  
既存のソケットも調整すれば再用可能とのことで、その方向で検討を進めます。



竹工芸の専門家による調査をおこないました。  
製作は困難をともないますが、試作などを行っています。





東京文化財研究所（上野）内の工房で修理中。取り外した壁布はクリーニングにより、シミなどがかなり消え、全て再用可能な状態であります。

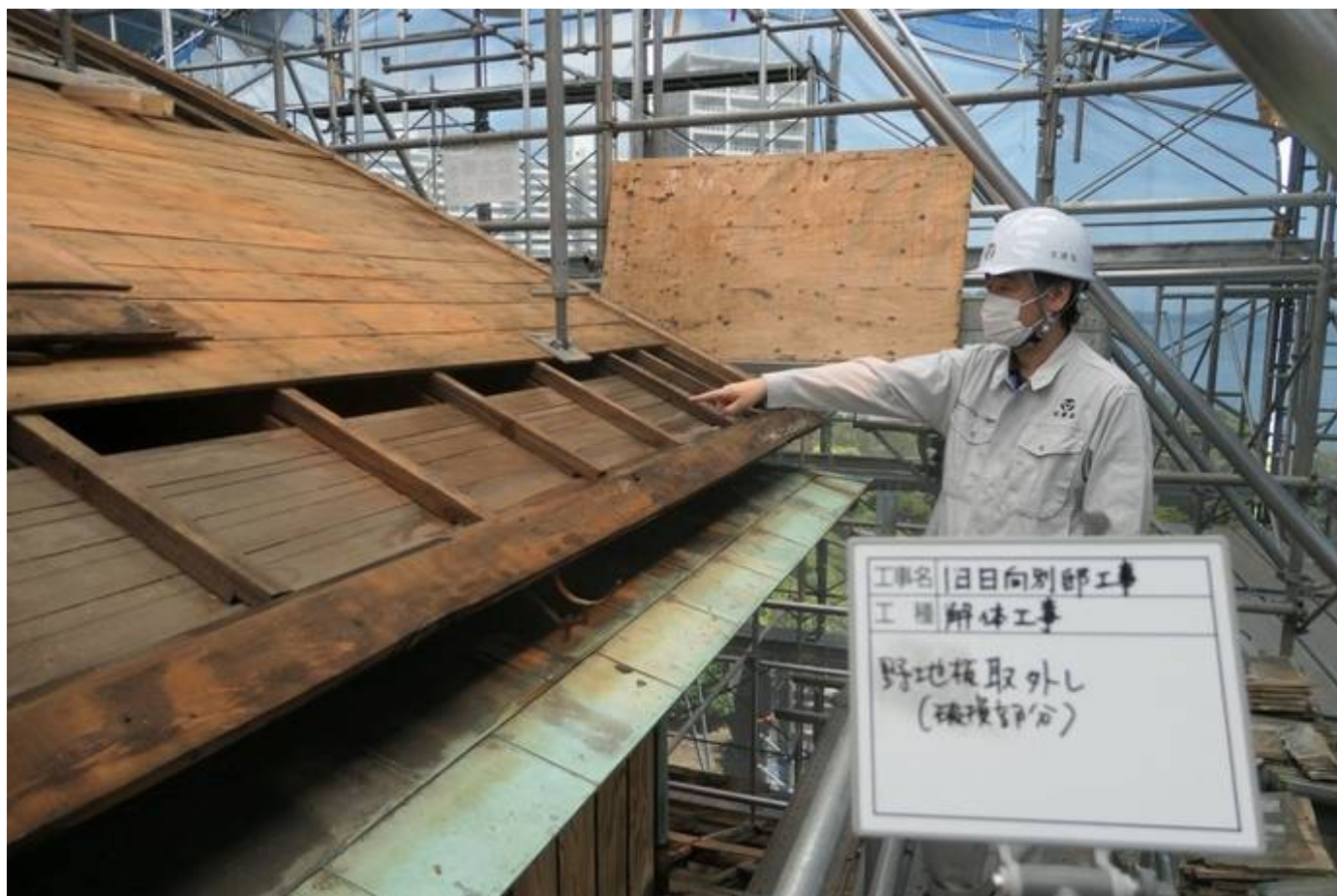




劣化し糸が欠損した部分も取り替えず、欠損箇所へ糸を補足して再用します。裏打ち紙を赤く染めて目立たなくします。



壁内の破損は軽微でしたが、足元の土台は蟻害が著しかったです。





破損部分のみ取外し。想定よりも破損は軽微でした。

## 保存修理工事の進捗状況

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和2年7月現在）



雨漏り部分以外の健全な範囲は存置することにしました。





野地板上に木毛板があったため、銅板葺下の野地板の状態は良好でした。



写真は、二階北面になります。





写真は、二階南面になります。  
この部分は雨漏りがあり、以前も野地板が合板で修理されていました。



ホールダウン金物の検討となりました。  
壁が薄いため、貫を避けるホールダウン金物を特注で製作する必要があります。

## 「保存修理工事の進捗状況」

保存修理工事の進捗状況についてお知らせいたします。（令和2年6月現在）



上屋の屋根の解体調査を行うため「上屋素屋根」の設置が完了しました。





銅板葺及びルーフィングの解体の様子です。

写真は上屋一階の玄関付近です。

過去に一回葺き替えられてたことがわかりました。





銅板葺の解体の様子です。  
写真は、上屋二階の南面です。  
銅板下地に繊維板が使われています。  
右方の色が薄い部分は中古修理時の合板です。



繊維板の解体の様子です。  
写真は、上屋二階の南面です。  
繊維板は一部を残して撤去しました。  
中古修理の合板下地部分は、その下の野地板もかなり腐朽しています。





銅板葺の解体の様子です。

写真は、上屋平屋部分の北面です。

上方の棧瓦葺下地はルーフィングと土居葺です。

銅板葺との境が雨漏りにより腐朽しています。



棧瓦葺下地の土居葺です。

機械挽きの杉板が、鉄釘で止まっています。



銅板葺の解体の様子です。

写真は、上屋一階の東面です。

雨漏り部分以外の野地板は、比較的状態が良いことが確認できたので、全面解体は取り止めることにしました。





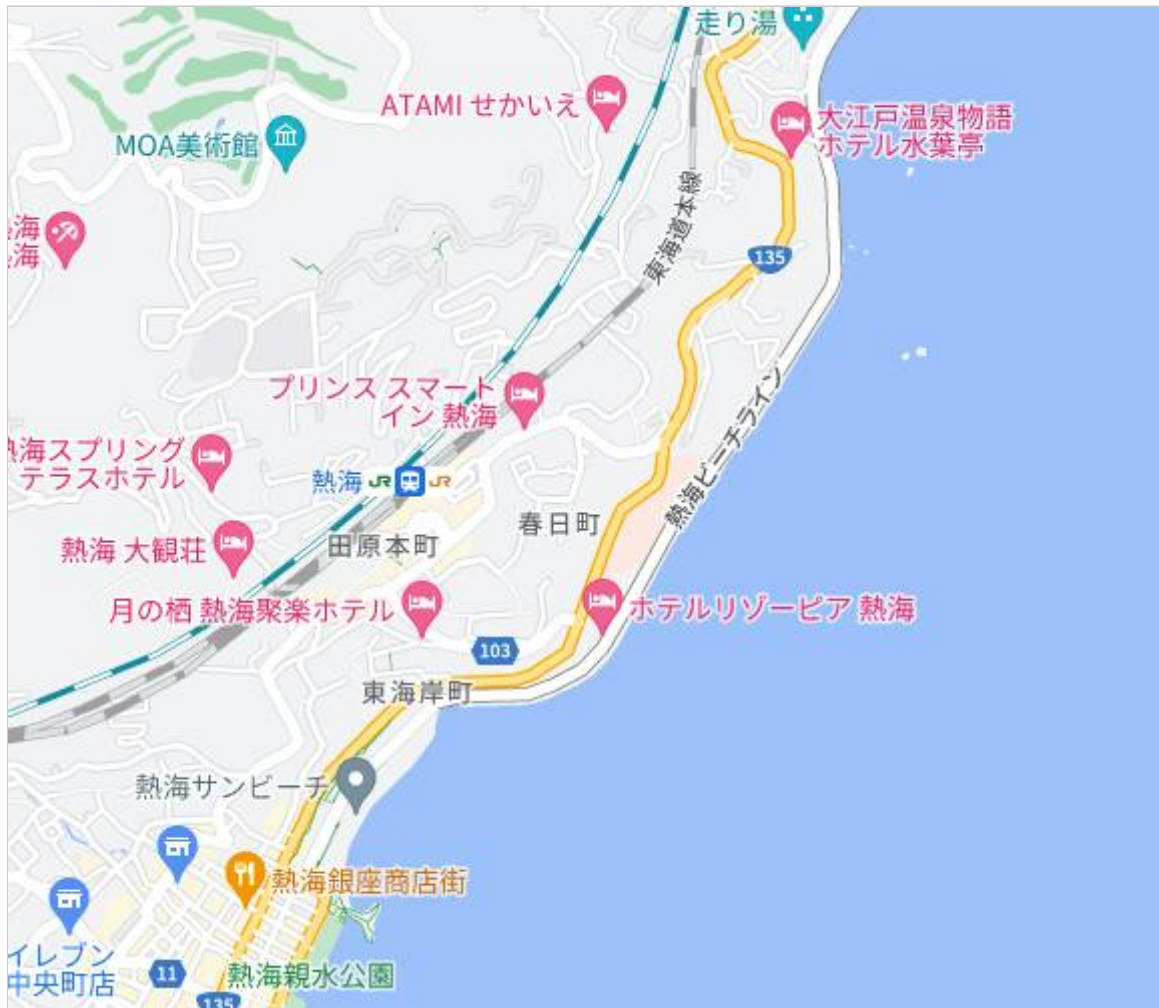
壁板の解体の様子です。  
写真は、上屋一階台所の北面です。  
配管などにより内部の土壁（表面は砂漆喰塗）が破損しています。



耐震補強の検討をしています。

既存壁が6~7cmと薄いため、補強壁の納め方に困難を伴います。

補強を行う場所ごとに慎重に検討を行っています。



## 添付ファイル

[略図 \(Jpeg, 89.4KB\)](#)

熱海駅から旧日向家熱海別邸までの略図

## 関連情報

[【旧日向家熱海別邸の保存修理工事の概要について】](#)

[【令和元年度 旧日向家熱海別邸の保存修理工事について】](#)

## このページに関するお問い合わせ

教育委員会 生涯学習課 文化交流室（施設担当）

〒413-8550 熱海市中央町1-1



電話：0557-86-6232 ファクス：0557-86-6606

[お問い合わせは専用フォームをご利用ください。](#)